

平成30年11月30日

「とびしまウルトラマラニック2018」におけるIoT実証実験について

平成30年12月9日（日）に広島県呉市のとびしま海道全域で「とびしまウルトラマラニック^{※1}2018」が開催されます。

株式会社エネギア・コミュニケーションズ（略称：エネコム、本社：広島市、取締役社長：熊谷 鋭）とKCCS モバイルエンジニアリング株式会社（略称：KCME、本社：東京都港区、代表取締役社長：金 炯培^{キム ヒョンベ}）は、大会実行委員会と連携し、この大会の場を活用して、LPWA^{※2}を活用したIoT^{※3}実証実験を行います。

ウルトラマラニックは、100kmもの長距離ステージを長時間かけて行われる大会であり、ランナーの走行状況や運営スタッフの活動状況などを大会運営本部がリアルタイムに把握する必要があります。これに対し、LPWA（Sigfox^{※4}）を活用して位置情報など収集し、本部側で情報を把握することで、大会運営の安全性向上や効率化への効果が期待されます。

本大会は西日本豪雨災害の影響で中止が危ぶまれた中、地域に元気を取り戻すだけでなく、とびしま海道の魅力を知ってもらい、活性化を目指す取組みの一つでもあります。

当社は、今後もIoTやAIをはじめとした様々なICT技術を活用し、生活・ビジネス・社会のあらゆる場面で、心の通う、より良いコミュニケーションづくりのご支援となるよう取組んでまいります。

◆とびしまウルトラマラニック 2018 大会概要

・主旨

とびしま海道の島々を巡るピクニック感覚のマラソン大会を開催。全国からの参加者に瀬戸内海の多島美などの自然や、御手洗地区などの歴史に触れ合ってもらい、とびしま海道の魅力を発信、ファンづくりを行う。また、島内外の交流人口の拡大を図る。

・主催／企画・運営

とびしまウルトラマラニック実行委員会／（一社）ITADAKI

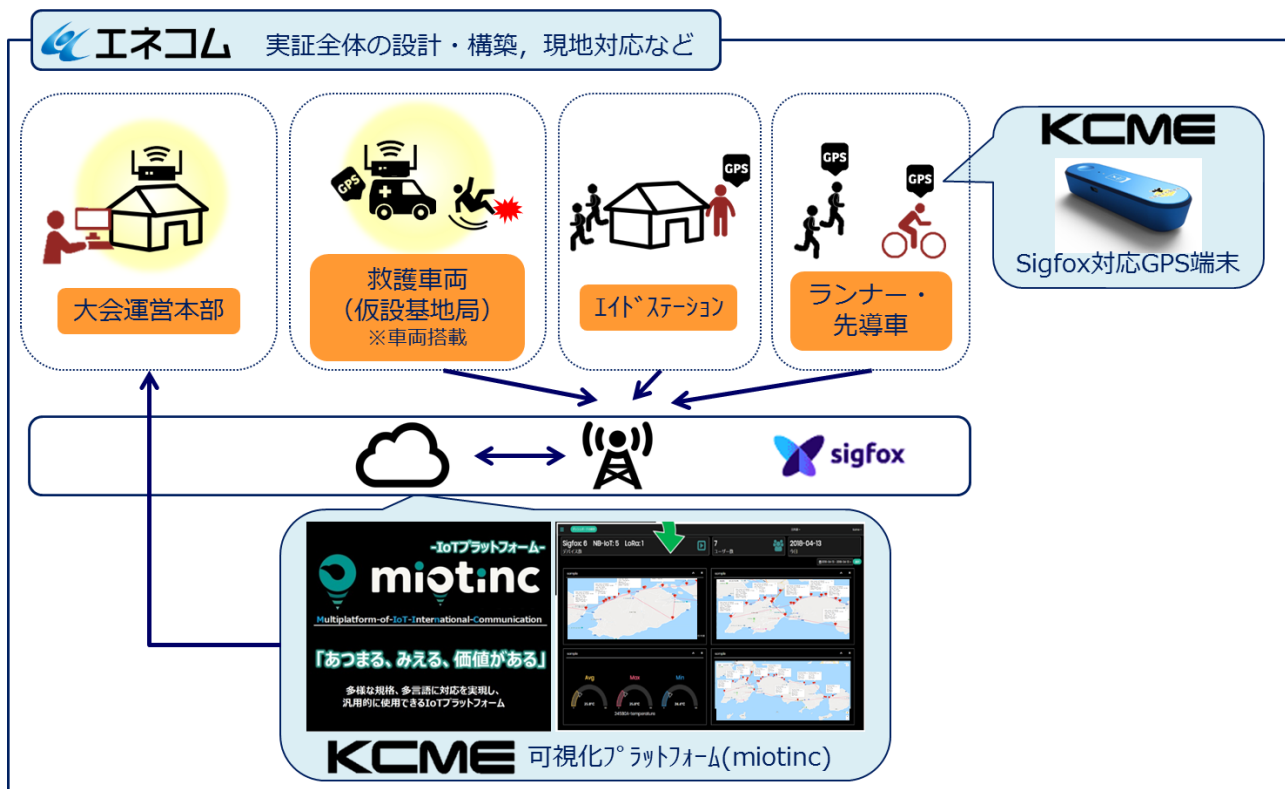
・大会ホームページ

<http://tobishima-ultramaranic.com/>



◆実証実験の概要

- ・日時：平成30年12月9日（日）
- ・場所：広島県呉市 とびしま海道全域
- ・内容：大会運営とIoTシステム連携による大会運営の安全性向上・効率化に係る実証実験
- ・実証実験イメージ



・各機関の役割

とびしまウルトラマラニック実行委員会	大会運営全般, 機器設置先との調整など
エネコム	実証実験全体の設計・構築, 現地対応など
KCME	Sigfox 端末機器, 可視化プラットフォーム (miotinc ^{※5}) 提供

※エネコムおよびKCMEは、京セラコミュニケーションシステム株式会社（KCCS）が提供するSigfoxパートナープログラムに参加しており、本実験に際してKCCS様のご協力もいただいています。

- ※1. マラニック・・・“マラソン”と“ピクニック”を掛け合わせた造語で、順位やタイムを重視せず、景色を楽しんだり、途中で食事をとったりしながら、決められたコースを走る娯楽性の高いマラソン。
- ※2. LPWA [Low Power Wide Area]・・・消費電力を抑えて遠距離通信を実現する通信方式。
- ※3. IoT [Internet of Things]・・・モノのインターネットと呼ばれ、様々な「モノ（物）」がインターネットに接続され、情報交換することにより相互に制御する仕組み。
- ※4. Sigfox (シグフォックス)・・・IoT向けの新たな無線通信技術であるLPWAのひとつで、低価格・低消費電力・長距離伝送を特長とした、グローバルIoTネットワーク。
- ※5. miotinc (ミオティンク)・・・Sigfox, NB-IoT, LoRa, Cat.M1, LTE-Mに対応した、IoTプラットフォーム。多様な規格, 多言語に対応し、汎用的に使用できるIoTプラットフォーム。

【本件に関するお問い合わせ】

エネコム 窓口 TEL 050-8201-1402 (担当：武田, 出口)
 KCME 窓口 TEL 06-6396-3788 (担当：馬野)